

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社奥村組 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標を社内の目立つ場所に掲示して従業員へ発信し徹底している。								8	9										17							
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・企業行動規範を定め、法令遵守に対する体制を構築している。 ・定期的に内部監査等を行っている。																		16								
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンス行動基準で目的と基本姿勢をe-ラーニング研修を通して周知している。													10					16								
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・安全品質環境本部が担当となり内部監査を実施し、その監査結果に対し、社長・各部門本部長および支社長によるMR(マネジメントレビュー)を行っている。																		16								
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産マニュアルを策定し、当社の営業情報の保護および他社の知的財産権の保護について、e-ラーニング研修を行っている。								8.2 8.3	9									16								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人データ管理体制を定め、個人情報取扱台帳により管理している。																		16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事の着手前に近隣住民に対し工事説明会を開催し、工事による影響について理解を得よう取り組んでいる。 ・竣工引渡し時および定期点検時に、お客様アンケートを実施し顧客ニーズの把握に取り組んでいる。																	16	17								
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8			10		12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・大規模な自然災害や感染症に備えBCPを構築している。 ・BCPの継続的な見直しと定期的な訓練・検証により実効性の強化を図っている。										9					11		13.1		16	17						
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9									17							
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●											1	2									5	8		12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8			10.2 10.3								16.1 16.2 16.7							
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月安全衛生環境委員会を開催し、労働安全衛生に関する講習を実施するなど、労働環境づくりに取り組んでいる。				3						8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った就業規則を策定し、雇用形態に関わらず公正な待遇を行っている。						5.5				8.5								10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務用PCのログ管理により時間外労働を把握し、長時間労働の防止に取り組んでいる。 ・育児や介護と仕事の両立を図るため、所定労働時間の短縮・始業時刻変更等の措置を実施している。				3		5.5				8.5 8.8									10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・人材育成のためのOJTとOFF-JTのプログラムを用意し、研修を実施している。 ・資格手当や資格取得助成金を給付する制度を設けている。					4	5.5				8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人【ホワイト500】の認定を受けている。 ・産業医による面談および保健師による健康相談を実施している。							3			8									17							
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・【えるぼし】の認定を受けている。					4.4	5.1 5.5				8.5									10.2 10.3		16.7					
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・フレックスタイム制やテレワークの制度を導入している。 ・遠隔地との会議はウェブ会議を積極的に推進している。							3				8	9.1							11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX推進専門部会を組織し、DX推進における課題を把握し具体的な施策を立案・実行している。 ・業務基盤としてのBIM/CIMの活用に取り組んでいる。											8	9.1							11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●														3	4								8	9			12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社奥村組 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・廃棄物の適正な分別・処分を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所の電気使用量、営業車のガソリン使用量を把握している。 ・エアコンの設定温度等に配慮し電気使用量削減に取り組んでいる。 ・営業車はアイドリングストップ車を採用し、ガソリン使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・各事業所ごとのCO2排出量を算定し把握している。 ・木質バイオマス発電事業を展開し、脱炭素社会の実現に向けCO2排出削減に取り組んでいる。 ・クールビズ・ウォームビズ（ビジネスカジュアル）に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工事で発生する濁水は適正に管理・処理を行っている。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生資源を原材料の全部または一部を使用して製造・加工された建設リサイクル資材の利用促進を行っている。 ・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水土里ネットが主催する阿蘇水源かん養林下草刈支援活動に参加している。 ・社員の生活において、水道を使用する際は、節水に心掛けるよう周知している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ZEH（ゼロエネルギー住宅）、ZEB（ゼロエネルギー建築）事業の推進に取り組んでいる。 ・省エネ・省資源を考慮したグリーン調達の実現に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社奥村組 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001の認証を取得しており、事業活動において品質管理の仕組みの改善に取り組んでいる。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・建物の設計時および施工時において、ユニバーサルデザインの提案を行っている。 ・工事による迂回路等は一般者の通行に支障のない環境を保つため、誘導員の配置等を行っている。								9.1	10	11.7									17				
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17				
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・各種団体が行う清掃活動等に参加している。 (国営玉名横島海岸保全事業地区一斉清掃支援活動・旧玉名干拓施設草刈支援活動)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを基に災害リスクの想定を行い、避難場所・避難経路の確認および非常用備品を常備している。				4							11.5		13.1					16					
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を推進している。		●		・免震ビルのパイオニアとして、免震技術の検証・開発に取り組んでいる。									9		11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・SDGs宣言やSDGsへの取組みに関する情報を社内外へ開示している。 ・SDGsを推進する社内体制を構築している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2										17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6												17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17			

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。